社会を、暮らしを、もっといいものに。

2011年 暮らしの eco note

社会・環境報告書

筑波大学附属坂戸高校の生徒の皆さん

YAOKO MARKETPLACE

ヤオコー eco宣言

“お客さまへの5つのお約束“

一、安全で信頼できる商品、環境に配慮した商品の販売を行い、お客さまの暮らしを考えた生活提案に努めます。

一、節電や節水などに積極的に取り組み、省エネ型店舗の運営を行います。

一、ゴミを減らし、資源を節約するためレジ袋削減運動や簡易包装の推進などに努めます。

ごあいさつ

東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆さま、そのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

わたくしどもヤオコーは、「豊かで楽しい食生活の提案」から地域の皆様のより豊かな日常生活の実現のお手伝いをさせていただいております。そしてお客さまに「この街に、ヤオコーがあって良かった」と、喜んで頂ける会社を目指しております。

昨年度は、おかげさまで、創業１２０周年を迎えることができました。その記念事業の一環としてのヤオコーの新しい環境活動につきまして、この度のエコノートで、ご紹介いたします。

レジ袋の削減では、レジ袋をご辞退されたお客さまには、２円をキャッシュバックさせて頂く取組みや、お店から出る生ゴミを、地域で循環して（リサイクルループ）ゴミを削減する取組みを開始致しました。また「ヤオコーの森林づくり」では引き続き、緑豊かな森林に戻す活動も行いました。

わたくしどものできることは、小さなことですが、皆様のご支援・ご協力をいただきまして、より広い分野で、少しでも世の中のお役に立てるよう引き続き努力してまいりたいと思います。

何卒宜しくお願いいたします。

平成二十三年六月

株式会社ヤオコー
代表取締役会長
川野幸夫

株式会社ヤオコー
代表取締役社長
川野清巳

一、限りある資源の再利用のため、店頭でリサイクル品を回収、循環型社会実現へ貢献します。

一、地球環境保全や社会貢献活動の一環として、ヤオコーの森林づくり活動を推進します。

筑波大学附属坂戸高校との取組み

昨年7月、坂戸千代田店で、筑波大学附属坂戸高校の農業科の実習として、生徒さん達が野菜の販売をしました。

これは、「リサイクルの環」の取組みで、具体的には

①坂戸千代田店で生ゴミを分別

②リサイクル工場で、肥料にリサイクル

③その肥料を使い、坂戸高校の生徒さんが農産物を生産

④できた農産物を、生徒さん自ら坂戸千代田店でお客さまに販売

という、地域での循環型社会になっているものです。

（循環型社会：ゴミを燃やすのでなく、リサイクルして利用、また元に戻るループを描くもの。

なお、ヤオコーでは、21店舗で生ゴミリサイクルを実施しています。）当日は、5時間の予定で、トマトやキュウリ、米ナスやトウガラシ、ニガウリなどの夏野菜を販売、先生は完売できるか心配していましたが、約180個の野菜が、3時間弱で完売。お客さまからは、生徒さんに気軽に話し掛けて頂けました。12月には冬野菜を販売。またまた好評で、当日はテレビ局の取材もありました。

笑顔で接客する生徒さん達

畑で先生と作業中

自分達の野菜の前でにっこり

積極的に環境活動に参加しているのね。

使い終わったモノは、捨てずにリサイクル。

お店の入り口にあるリサイクルボックスは、再生への入り口。

親子で学ぶエコ活動

お客さまに参加して頂くリサイクル工場見学を開催する等、親子で楽しみながら環境問題を学べるプログラムとして好評を頂いています。

店から出る、生ゴミや牛乳パックのリサイクルにも取り組んでいます。

貴重な食料資源を有効に活用するため、「食品資源の循環」を目指しています。ふだんお客さまにみえないところでも生ゴミ（野菜や魚のくず）の分別を行い、約3ヶ月かけて堆肥にリサイクルして、有機栽培に取り組む農場で野菜栽培に使用しています。

ヤオコーでは、牛乳パックをリサイクルしたトイレットペーパーや、リサイクル文具など、たくさんの商品を販売しています。

※21店舗（全店舗の約2割）のお店で実施しました。

社会貢献活動にも積極的なのね。

未来に繋ぐ、森林づくりへ

ヤオコーは地球環境保全や社会貢献活動の一環として、『埼玉県森林づくり協定』を県と小川町の間で締結し、地域とともに歩む企業として、新たに、「ヤオコーの森林（もり）づくり」として植樹活動を行っております。

▲
第3回植樹会は、
東日本大震災の影響により
社員で実施いたしました。

写真：埼玉県提供

東日本大震災救援募金

ヤオコーでは東日本大震災における被災地復興支援として、被災された皆さまに対しまして、義援金を日本赤十字社等を通じて寄贈いたしました。また、店頭でも募金箱を設置し、多くのお客さまからの温かいご支援を頂きました。
被災地の皆さまには謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

「東日本大震災」の被災地・被災者の方々に対する追加支援と救援募金について

このたびの東日本大震災により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

株式会社ヤオコーは、被災された皆様と被災地に対しまして、以下のとおり、義援金をお送りいたしました。

日本赤十字社
岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の各県災害対策本部
社会福祉法人 中央共同募金会（NPO・ボランティア団体支援募金）
特定非営利活動法人 国境なき医師団
財団法人 日本ユニセフ協会
日本スーパーマーケット協会

義援金合計 2億2,000万円

また、各店舗にて行っておりました「救援募金」に対し、多くのお客様のご協力を賜り、誠にありがとうございました。

救援募金合計 1,030万6,425円

引き続き「救援募金」を継続させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

被災地の一日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

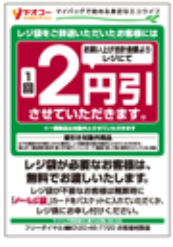
株式会社ヤオコー

- ●3月16日
  義援金 1億円【寄贈先】日本赤十字社
- ●3月31日
  義援金 1億2千万円
  【寄贈先】日本赤十字社、岩手県・宮城県・福島県・茨城県・千葉県の各県災害対策本部、社会福祉法人 中央共同募金会（NPO・ボランティア団体支援募金）、特定非営利活動法人 国境なき医師団、財団法人 日本ユニセフ協会、日本スーパーマーケット協会
  店頭募金 1,030万6,425円（4月17日まで）

いりません、レジ袋。

更なるレジ袋削減のため、キャッシュバック方式を導入。

川口市のレジ袋削減条例の施行に伴い、マイバッグを持参、レジ袋をご辞退いただいたお客さまには、お買い上げ合計金額からレジにて2円引する「マイバッグ持参値引き」を開始いたしました。今後、全店で行う予定です。



容器包装リサイクル法にも対応しています。

容器包装のリサイクルのために、財団法人容器包装リサイクル協会へ、約1億円をリサイクル委託費として支払いました。（ヤオコー＋三味合計）

また、惣菜コーナーでは、プラスチックパックの包材から環境負荷の低い紙包材を導入しています。廃棄燃焼時のCo2排気量を少なくし、ゴミの削減化にも役立っています。

環境負荷の低い店づくりに取り組んでいます。

新店では、順次オール電化の導入をしています。Co2排出量は年間約2tの削減が出来、環境に配慮し、安全面の確保といった点でも優れています。また、新店から順次、店内外の照明をLED照明へと切り替えています。長寿命・省電力による省エネに取組んでいます。

冷凍食品売場の冷ケース

使い終わった空き箱やPOP・ポスターなどの紙ゴミも回収し、リサイクルを始めました。

生産者の顔が見える。だから安心「地元野菜」。

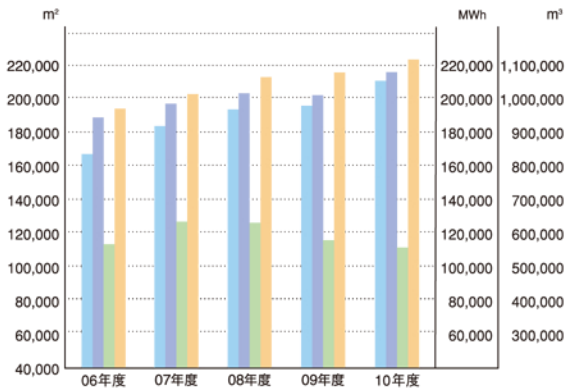
このトマトも、あのネギも、ヤオコーの「地元野菜」は、お店の近くの農家からご提供いただいている野菜です。つまり、あなたの顔見知りの生産者が丹精込めてつくった野菜なんてことも…。だから安心、とっても安全。

八王子並木町店

年度データ

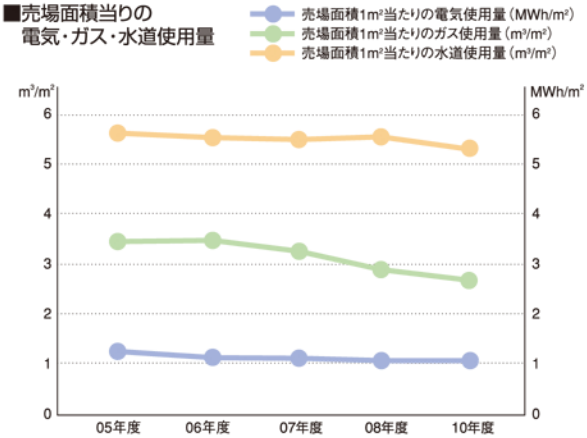
エネルギーの使用量

■エネルギー使用の状況



	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売場面積（㎡）	168,623	184,388	192,851	195,728	210,679
電気総使用量（MWh）	188,416	198,007	200,074	200,066	215,543
ガス総使用量（㎥）	578,965	641,418	629,523	584,884	564,898
水道総使用量（㎥）	975,599	1,018,085	1,061,086	1,089,758	1,114,541

■売場面積当りの
電気・ガス・水道使用量

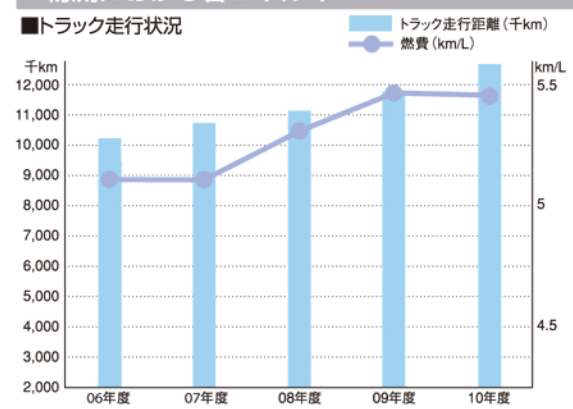


	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
売場面積1㎡当たりの電気使用量（MWh/㎡）	1.12	1.07	1.04	1.02	1.02
売場面積1㎡当たりのガス使用量（㎥/㎡）	3.43	3.48	3.26	2.99	2.68
売場面積1㎡当たりの水道使用量（㎥/㎡）	5.79	5.52	5.50	5.57	5.29

新店では、順次オール電化の導入をしています。Co2排出量は年間約2tの削減が出来、環境に配慮し、安全面の確保といった点でも優れています。

物流における省エネルギー

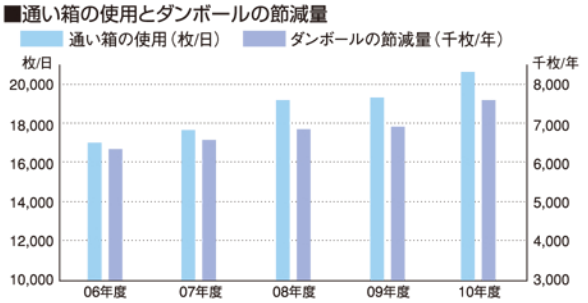
■トラック走行状況



	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
トラック走行距離（千km）	10,221	10,739	11,365	11,860	12,606
燃費（km/L）	5.12	5.11	5.31	5.49	5.28

○通い箱の使用　店舗と物流センターの間で通い箱を使用しています。
2010年度は20,796枚（1日当たり）の通い箱を使用しました。
1年でダンボール759万枚の使用を削減しました。

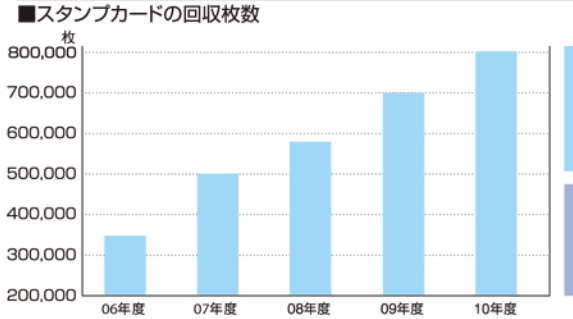
■通い箱の使用とダンボールの節減量



	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
通い箱の使用量（枚/日）	17,248	17,710	18,675	18,781	20,796
ダンボールの節減量（千枚/年）	6,295	6,464	6,818	6,855	7,590

レジ袋の削減・廃棄物の排出量

■スタンプカードの回収枚数



2010年度は
約80万枚の
スタンプカードを
回収しました。

2010年度の
レジ袋辞退率は
15.0%でした。

■一般廃棄物の量（店からの排出量）

	2009年度	2010年度
可燃物	9,396 t	8,818t
発泡スチロール	74千㎥	68千㎥
魚くず	598 t	625t
ダンボール	11,908 t	12,383t
廃食油	259 t	260t

YAOKO MARKETPLACE

株式会社 ヤオコー
〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町1-5
www.yaoko-net.com

VEGETABLE OIL INK
Naturalus Printing. Naturally.

本誌は古紙配合の再生紙を使用しています。
この報告書は環境にやさしい植物油を使用しています。
印刷は印刷工程での有害物質を出さない水なし印刷で行っています。